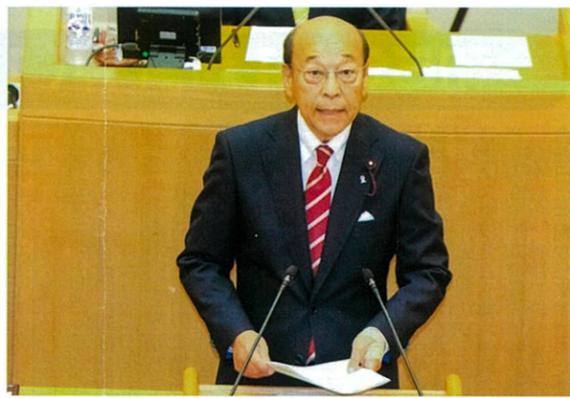


市政報告

神戸市議員
(須磨区)

松本しゅうじ (周二)



本会議で質問する松本しゅうじ市議

ごあいさつ

謹啓 皆様にはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

本年は、年頭より能登半島地震による大災害で多くの方々犠牲となり、心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて、昨年4月の地方統一選挙に於いては、8期連続当選の栄を賜り心より厚く御礼申し上げます。また地元プロ野球やプロサッカーが昨年優勝し神戸に元気をもたらしてくれました。一方で、不安定な国際情勢の中、燃料高騰や物価高など先行き不透明な時代、今後も予断を許さない状況となり私たちの暮らしに影響を与えています。

又、令和5年定例決算市会が行われ、危機管理局・消防局・建設局・健康局・福祉局・水道局等々、自民党市議員として、救急医療対策推進、アジア初の2024・5月神戸での世界パラ陸上競技選手権大会に向けた危機管理テロ対策、介護人材支援策・事務負担軽減策等々、質問と要望を含めた政策提言を行い、12月の本会議・一般質問では、神戸港ヤード内での渋滞問題、島田勲氏顕彰碑・「須磨島守の広場」の活用等々、本会議での一般質問を行いました。

本年2月より、令和6年予算市会が行われ、予算特別委員会では港湾局・経済観光局・教育委員会・文化スポーツ局・こども家庭局等々、質問と提案を含めた政策提言をしております。

改めて、2024年問題・産業労働人口の減少もある中、神戸市人口も150万人を割り、転出超過、少子超高齢化、人口減少社会の進展に伴う社会保障費関係の増大を見込むと神戸市財政状況は依然として厳しく、官から民への民間委託推進や事務事業の見直し等々、行財政改革を一層推進しなければなりません。

そうした中、本年6月には、神戸須磨シーワールドのオープン・11月には要望して参りました須磨海づり公園のオープンなど、経済波及効果に期待をしております。

今後も地方創生戦略として、AIやDX等々の活用と共に神戸港の港勢拡大、2030年に向けた神戸空港の国際化、インバウンド対策による経済波及効果等々。地元企業への支援拡大、地域医療・救急医療体制の支援強化、地場産業・農水産業への地産地消支援、市場・商業への支援施策、高齢者福祉施策、英会話教育推進とスポーツ・文化活動への支援、更には民間保育への支援策・子育て支援施策の拡充等々、課題解決に向け阪神淡路大震災年に初当選した議員として初心忘れず、神戸・須磨の為に住民主体の市政を貫き「須磨に生まれ、育ち、須磨に尽くす!」「明るく・元気に!」をモットーにクリーンな市議員としてその責任の重大さを認識しつつ鋭意努力して参ります。今後とも尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。>

自民党兵庫県連合会監査
自民党神戸市連総務会長
神戸市議員 **松本しゅうじ** (周二)

主な経歴

- 法務大臣表彰受賞
- 兵庫県自治功労者表彰
- 神戸市スポーツ功労者表彰
- 経済港湾委員会委員
- (財)兵庫県軟式野球連盟副会長
- 神戸軟式野球協会会長
- 公財・神戸市スポーツ協会評議員
- 少林寺拳法神戸連合会副会長
- 法務省・須磨区保護司会監事
- 神戸市茶花道会顧問
- (社福)くすの木保育園理事
- 神戸ユネスコ協会顧問
- その他

令和6年度予算の規模

(単位:百万円, %)

会計別	令和6年度	令和5年度	増△減	
			増△減	伸率
一般会計	905,694	879,398	26,296	3.0
特別会計	671,100	680,250	△9,150	△1.3
企業会計	350,195	328,418	21,777	6.6
合計	1,926,989	1,888,066	38,923	2.1

令和4年度事業別行政コスト計算書

救急業務

◆事業概要

本市では、急病や事故による負傷に対する救急出動件数は約9万9千件のにのぼり、昼夜を問わず隊員が救急救命業務に従事しています。また、一人でも多くの命を救うため救急救命士の計画的な養成などの救急業務の向上に取り組んでいます。

◆4年度に要したコスト

- 救急業務に要するコスト 44億7,860万円 (+5,260万円)
- 救急出動1件あたりのコスト(R4年度救急出動件数: 99,489件) 4万5,016円 (△6,216円)
- 市民1人あたりの市税等の投入額 6,013円 (+52円)



ごみ収集業務

◆事業概要

一般家庭から出るごみを収集し、処理施設まで運搬する業務です。さらなるごみの減量・資源化を推進するため、市民のみなさまに対し、ごみ出しルール等の啓発活動を行っています。

◆4年度に要したコスト

- ごみ収集業務に要するコスト 90億4,042万円 (△4,985万円)
- 1世帯あたりのコスト(R4年度末世帯数: 771,248世帯) 1万1,722円 (△142円)
- 市民1人あたりの市税等の投入額 6,013円 (△4円)



障害者支援

第31回全国身体障害者野球大会・大会副会長の松本市議



優勝旗返還する30回大会優勝の名古屋ビクトリーの皆様と



31回大会優勝の岡山桃太郎の皆様



熱戦を繰り広げる選手の皆様(野球が生きがいですと話す)

ご相談・問い合わせ先

■事務所 〒654-0049 神戸市須磨区若宮町3-2-2 TEL(078) 731-3001 FAX(078) 731-3002

神戸市議員

松本しゅうじ (周二)



令和5年 定例市会決算特別委員会で質問する松本しゅうじ市議(一部抜粋)

2024年からの医師の働き方改革の対応について

質 2019年4月以降、働き方改革によって多くの業種で時間外労働時間の上限が設けられていますが、医師については上限規制の適用が猶予されてきたが、いよいよ2024年からは猶予もなくなり、医師の働き方改革がスタートします。市民病院機構において、対策は取れているのかお伺いします。同時に、医師の働き方改革を進めれば、その分マンパワーが低下することも考えられ、特に神戸市市民の最後のとりでである中央市民病院の救命救急センターは9年連続全国1位の評価を得ており救急体制に支障がないのかお伺いします。

答 花田健康局長

病院機構におきましては、医師への時間外労働規制が適用されることを受けまして、医師の働き方改革について様々な取組を行ってまいりました。

まず1点目、当直明けの早期の帰宅の徹底。2点目は、患者・御家族への説明を、平日の時間内にやらせていただきます。

また、クランクなどの活用によりましてタスクシェアという手段で、必ずしも医師がやらなければならないような業務はほかの業種に振っていくという事です。

これらの取組の結果、2022年度の時間外勤務の実績は、猶予期間の初年度となる2019年度と比較しまして1人当たり108時間の縮減ができております。このように取組により着実に進んでおります。2024年度からの新たな労働規制には対応できるというふうに病院機構のほうでは認識をしております。また、御指摘の中央市民病院の救急部につきましては、実は、交代制を導入しております。基本的に交代しますので、もともと過度な長時間勤務とはならない仕組みになっております。ですが中央の救急を支えているのは救急部だけではなく、病院全体の診療科で支えて、ほかの診療科は当直してまいりますので、さつき申し上げた取組によって超勤時間の縮減を進めております。

これまでどおり市民の最後のとりでとしての使命はきちんと果たしていくという事で進めてまいります。

ただ、救急部で全て対応できないような緊急手術やいろいろな処置など、例えば脳外科とか心外とか消化器内科とかが全診療科が当直を決めて、これをER型と言って対応しており、中央は本当の三次救急が本当にできるという事です。

医師の過労対策について

質 医師の過労についてですが、新聞で掲載されておられた甲南医療センターの専攻医が長時間労働で自殺したということから、刑事告訴が行われて、それから、先日は兵庫県立5病院が医師らに違法残業させた、ということ、また労基署からは正告を受けています。

そこで、中央市民病院でも過去には2回は正告を受けたことがあるという報道もありましたので、これらの問題、公立、民間問わず現在病院が抱えている深刻な問題ではないかと推測しております。

答 三川健康局副局長

是正勧告でございますが、2017年度に75人、2019年度に1人と、36協定を超えた時間外労働について、それから2021年度に出退勤時間と自己申告による時間外労働時間との乖離等について指摘を受けたものでございます。これらの指摘を真摯に受け止め、その都度必要な改善を行った上で是正勧告を行っております。具体的には、時間外労働の縮減に向けた取組を徹底すること、院内に周知の上、例えば、休日の当直、当番医での対応、当直明けの早期帰宅、患者・御家族への病状説明の勤務時間内実施などの徹底を図ってまいりました。2019年度には是正勧告を受けた後、さらなる時間外労働の縮減に向けた取組を行い、現在、そういった状況はないという事でございます。



決算委員会で質問する松本しゅうじ市議

看護師の処遇改善について

質 多くの業種で人材不足ですが、病院も同じく深刻化しています。また、その理由としても看護師の業務量が多い、責任が重い、業務形態が不規則、看護師の業務負担が大きいことが考えられますが、そこで、神戸市民病院協議会の先生方や兵庫県看護連盟の看護婦長さんなど意見を交換する機会があり、そんな中では必ず聞かれます、看護師の処遇改善の話が出てくるんです。1人が休んだら、それについてフォローアップするのが大変ということ、これが感染症のときでも続いていたということでした。市民病院機構におきまして看護師不足の実態、処遇改善の取組について、見解をお伺いします。

答 三川健康局副局長

看護師の実態についてでございますが、職員の採用につきましては、この数年採用予定者ができないという事でなく、確保がきちんとしてきております。ただ、神戸市民病院機構における看護職員の離職率というのが11から13%程度と全国と大体同程度の数字となっております。やはり病院機構においても離職防止の取組が喫緊の課題となっております。

そのために、今年度より、機構内にワーキンググループを設置しまして、離職防止策の検討、具体的には若手職員のやる気やモチベーションを高めるための取り組み、具体的な見直しを始めております。

あと、手当等でございますが、夜勤手当の改善であったり看護職員の処遇改善手当の支給など、その改善にも取り組んでおります。給与以外にも看護職員への入寮期間の撤廃であったり、育休の取得期間を拡大するなど、看護師が働きやすい職場づくりに取り組んでいるところでございます。

介護事業者の事務負担軽減について

質 事業者の方が市に提出する各種申請・届出等の書類が多く提出するようになってきて、アンケートにも、短時間で早く現場はそれぞれが早急にとりわけますと事務処理が大変だと聞かれています。目的は介護をしっかりと質のいいものやってもらうことが一番の肝なので、それ以外のことで負担をかけるというのはいかぬものか。

まず人材確保と質の向上を図ってらっしゃる、これからの高齢化社会に対応していただけるという人々を応援するのが市の役割であるかと思えます。そこで先ほどの事業者の事務負担軽減の観点から、必要性を再度検討するなり、簡素化をするべきと思うが、見解をお伺いします。

答 森下福祉局長

事務負担を軽減して本来業務に注力いただくというのは本当にそのとおりと思っております。我々もそうであってほしいと思っております。我々が所管しております様々な届出の書類等につきましては、やっぱり国の基準というものは守らないといけないところもありますので、神戸市独自のものは、ほぼやめるといって動いてございます。

外国人介護人材確保の支援策について

質 本市では、ひょうご外国人介護実習支援センターに国際調整専門員配置のために経費を補助するという事で、外国人介護人材受入れを促進しているとお聞きしておりますが、ほかにも5事業のいろいろな形があるのも存じておりますが、その一方で海外の介護人材を直接自分で自分たちの事業所に呼び込むという取組も進んでおられる事業者もいらっしゃいます。後者のような取組に対して、もっと支援を行う必要があるのではないかと考えております。例えば、新規採用介護職員に係る住宅手当補助の拡充を図ることはできないか、見解をお伺いします。

答 福社局副局長

御指摘のように、センターによらず独自の取組として外国人介護人材の受入れを行っている事業所を認識しております。適切に介護サービスを実施していただくために、受け入れルートに関わらず支援していく必要はあると考えており、これまででも事業者団体の意見を聞きながら必要な施策を展開してまいりました。まず、新規採用の介護職員に対する住宅手当補助でございますが、外国人の方も対象にしており、申請が年々増加しております。令和3年度130名であったところ、令和4年度には申請件数の約半数に当たる217名の方が外国人でした。この補助とはまた別でございますけれども、住まい探しそのものがやはり外国人の方は難しいという事で、福祉局、建築住宅局、不動産団体などで構成する居住支援協議会、こちらで住宅確保要配慮者のための支援を行っております。連携を深めながら市内での取組も進めているところでございます。

市内事業者の外国人在の獲得を後押しをするためには、受入れ定着支援、どのような取組が効果的かということについては、引き続き事業者団体とも十分に意見交換しながら進めてまいりたいと思っております。

再質問

再質問 実務としてはそれがまだ浸透していないと思えます。そして、ICT化ということで、それに対する人材も要したり、不慣れなところもあれば、スムーズにされることもある。どのように検討され実施しているのか具体的に伺います。

答 森下福祉局長

1つの例を引くと張り出しますけれども、介護サービス事業所の開設に係る手続がございまして、そういったところで、指定変更というところについては、もう国が求めているそれ以上のものは神戸市独自の書類というのは求めない状況をつくっていきたくていこうと思っております。となりますと、こうした問題がこれらからどんどん減っていく、事務手続は国のものとかいろいろなものあるでしょうけれども、市単で神戸市が独自にやるものもどんどん減っていく。

その一方で、皆で一緒になって介護人材確保、質の提供、アップをしつかり図っていきたくと思っております。

要旨

実はコロナがあつて、外国から来るのが数年止まっていた状態もあつたが、今後さらに増えていくと思つています。したがって、住宅問題が大きくなつてくるので、市単でやっている以外に、補助なしで頑張っている事業者に対しては、ヒアリングもしていただくなり、支援の幅を広げて頂くよう改めて要望しておきます。

プロフィール
松本しゅうじ(周二)

マイクロソフトが神戸にAI開発支援の新拠点を視察する松本市議

経歴	現在の主な役職
市) 若宮小学校卒業	神戸中央青果卸売協同組合顧問
市) 鷹取中学校卒業	日本ケミカルシューズ工業組合相談役
市) 神戸西高校卒業	兵庫県宅地建物取引業協会神戸西支部顧問
(現在・須磨翔風高校)	INAC神戸レオネッサを応援する市会議員の会理事
近畿大学商経学部卒業	オリックスパワファローズを応援する市会議員の会
衆議院議員秘書	ヴィッセル神戸を応援する市会議員の会
(公設第一秘書含む17年間)	神戸市会防衛議員懇話会議員
自治大臣秘書	兵庫県柔道整復師会顧問
国土庁長官秘書	名谷ソフトボールリーグ顧問
神戸市議会議員・8期連続当選	関西女子野球連盟・オール兵庫後援会会長
神戸市監査委員	神戸市私立幼稚園振興議員懇話会議員
港湾交通委員会委員長	神戸ユネスコ協会顧問
文教経済委員会委員長	その他顧問団体多数
福祉環境委員会委員長	
大都市税財政特別委員長	

発行 神戸市会無所属会派・神戸市中央区加納町6-5-1

《活動の中から》住民の多くの声を必ず市政に反映します。

スポーツ活動に 社会人野球や学童野球に貢献する松本市議



KSBL秋季大会・松本しゅうじ旗争奪少年少女野球大会で優勝した白川ホーネットに優勝旗とメダルを授与・激励する松本市議 (G7球場にて)



神戸軟式野球協会会長として全神戸選抜軟式野球大会で優勝した後藤回漕店チームに優勝旗を授与する松本市議 (G7球場にて)



第77回兵庫県民スポーツ大会軟式野球選抜で優勝した住友電工伊丹チームに優勝旗を授与する兵庫県軟式野球連盟副会長の松本市議 (G7球場にて)



第20回神戸市長旗争奪少年野球選手権大会優勝の香寺クラブジュニアの皆さんを激励 (神戸軟式野球協会会長の松本市議)



マイナビジャパンビーチバレー須磨大会が須磨海岸で開催。川合俊一日本バレーボール協会会長さんと朝日健太郎参院議員と共に応援する



名谷ソフトボールリーグ40周年記念で挨拶する顧問の松本市議



須磨区少年サッカー大会として須磨区長杯を提唱して依頼26回が経過。第1回大会から取り組む松本しゅうじ市議 (熊谷須磨区長と藤井さんと共に)



少林寺拳法神戸大会で挨拶と拳士の皆さんを応援する神戸連合会副会長の松本市議。(グリーンアリーナ神戸にて)

保護司として社会貢献活動に



犯罪や非行のない安全で安心な社会を明るくする運動で活動する須磨区保護司監事の松本市議 (名谷パティオ広場にて)



神戸市長へ「内閣総理大臣メッセージ」を伝達する皆さんと共に

子ども会活動に



東須磨子ども会・餅つき大会に参加。アイデアいっぱいのお餅・子ども達を励ます松本市議

がん患者支援に



マギーズ東京を神戸に誘致! 西日本の拠点としてがん患者を支援する為の誘致について話し合う松本しゅうじ市議 (マギーズ東京 秋山正子センター長と共に)

平和活動に



須磨出身の沖縄県知事・島田叡氏の功績を称える須磨島守の広場(須磨寺参道)の「顕彰碑」を視察する沖縄県会議員に交流事業推進に役立ったと説明する松本市議・伊藤県議



沖縄平和記念公園の「島田叡慰霊碑」と「兵庫県のじぎくの塔」に参列し献花する須磨区遺族会長さんと松本しゅうじ市議・伊藤すぐる県議

伝統文化活動に



神戸市茶花道会顧問として「歳末助け合い茶会」を支援する松本市議。神戸市茶花道会の先生方と共に(長田神社にて)

医療施策に



須磨区医師会会合にて地域医療や病診連携等々、先生方のご意見を頂き医療施策や福祉施策に取り組む松本市議(須磨区医師会小野一広会長さん・伊藤県議と共に)

地場産業に



日本ケミカルシューズ工業組合相談役として挨拶。地場産業への支援拡充に取り組む松本しゅうじ市議(ファッションシューズコンテスト2024・国際展示場にて)

ウクライナ支援に



奄美群島日本復帰70周年・神戸奄美会総会で祝辞挨拶とウクライナ支援の御礼挨拶をする松本市議と伊藤県議

子育て支援に



くすの木保育園理事として子育て支援に取り組み、コロナ明け後の運動会で園児を励ます松本市議

防災活動に



須磨名谷の「地域防災イベント」で神戸女子大の学生消防団の皆さんに経験を活かして社会人としても活躍して下さいと激励する松本市議



須磨区防災表彰式にて受賞者に議員団を代表して祝辞。須磨区内の火災件数減少は皆様のお陰様ですと報告する松本市議

地産地消に



須磨浦恵比寿神社例祭で須磨のり・イカナゴくぎ煮・ちりめん・サーモン等々の地場産品による漁業振興策を支援する松本市議(須磨浦漁友会長・若林良氏と共に)

地域活動に



高倉台連合自治会創立50周年記念式典に参加する松本市議(加納会長さん・正岡須磨消防署長さんと共に)

防災福祉に



南落合防災福祉コミュニティ顧問として救急救命士講習会に参加する松本市議(南落合防コミ会長・加藤さんと共に・センターにて)